

財政状況等一覧表（17年度）

団体名 宇城市

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）（百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債 現在高	他会計からの 繰入金	備考
一般会計	24,462	23,490	972	885	33,312	313	
奨学金特別会計	8	7	1	1	-	4	
普通会計	24,466	23,493	973	886	33,312	313	一般会計繰出・奨学金 特会繰入3,654千円を 相殺

2 1以外の特別会計の財政状況（公営事業会計に係るもの）（百万円）

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	不良債務 (実質収支)	地方債 現在高	他会計からの 繰入金	備考
水道事業会計	989	1,213	△224	-	7,599	266	法適用企業
病院事業会計	451	453	△2	-	70	30	法適用企業
農業集落排水事業特別会計	(歳入) 334	(歳出) 333	(形式収支) 7	(実質収支) 7	3,411	280	
公共下水道事業特別会計	(歳入) 1,833	(歳出) 1,828	(形式収支) 30	(実質収支) 26	9,307	728	
簡易水道事業特別会計	(歳入) 241	(歳出) 238	(形式収支) 26	(実質収支) 19	1,949	106	
国民健康保険特別会計	(歳入) 7,153	(歳出) 6,777	(形式収支) 376	(実質収支) 376		480	
老人保健特別会計	(歳入) 8,246	(歳出) 8,102	(形式収支) 144	(実質収支) 144		850	
介護保険特別会計	(歳入) 4,873	(歳出) 4,748	(形式収支) 125	(実質収支) 125		647	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 不良債務が～百万円となるときは、「△～」と表記している。
 3. 農業集落排水事業特別会計の歳入には、前年度からの繰越金6百万円、公共下水道事業特別会計の歳入には、前年度からの繰越金25百万円、簡易水道事業特別会計の歳入には、前年度からの繰越金23百万円が含まれていないため、「歳入-歳出」が形式収支と一致しない。

3 関係する一部事務組合等の財政状況（百万円，％）

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	形式収支 (純損益)	実質収支 (不良債務)	地方債 現在高	当該団体の 負担割合	備考
宇城広域連合	72	71	1	1	48	46	
宇城広域消防衛生施設組合	1,851	1,806	45	34	433	46	
下益城火葬場組合	84	73	11	11	-	19	
宇城広域清掃施設組合	1,233	1,057	176	176	3,481	76	
宇城広域火葬場組合	67	60	7	7	-	60	
上天草・宇城水道企業団	776	752	24	-	5,135	-	
熊本県市町村総合事務組合	14,833	12,624	2,209	2,209	10	4	

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（百万円）

	経常損益 (千円)	資本又は 正味財産 (千円)	当該団体から の出資金 (千円)	当該団体から の補助金 (千円)	当該団体から の貸付金 (千円)	当該団体から の債務保証 に係る債務残 高	当該団体から の損失補償に係る 債務残高	備考
三角町振興(株)	△ 3,477	14,901	10,000	-	-	-	-	
(有)アグリパーク豊野	5,560	24,950	11,000	-	-	-	-	
不知火温泉(有)	△ 9,059	95,568	31,500	-	-	-	-	
宇城市土地開発公社	△ 102	6,704	5,000	-	-	-	-	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5 財政指数

財政力指数	0.40	実質収支比率	5.7
実質公債費比率	14.6	経常収支比率	93.0

(注) 実質公債費比率は、平成18年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成15年度から平成17年度の3カ年平均である。